

# ベトナム最新情報

2018年7月12日（木）

－ 通巻4347号 －

## 目次

### ○ 政治・経済

- = ベトナムドンの下落が進む、市中レートは1ドル=23,230ドン
- = ホーチミン市 - カントー 高速道路、2022年に全線開通を予定
- = 合弁によるベトナム投資、見直されて増加

### ○ 人事・労務・法律

- = 小規模事業者の売上を掌握し、税収アップを図るために

### ○ 統計情報

- = ホテルの稼働率、客室料金が回復基調

### ○ 一口ニュース(7件)

- 為替・証券市場動向
- 入札情報

### ○ 事件・出来事

- = 70歳の女性裁判官、30歳の元愛人に復讐した罪で起訴

### ○ コラム

- = ベトナムの農業に密着する体験実習ツアー

**\*\*\*\*\*政治・経済\*\*\*\*\*****ベトナムドンの下落が進む、市中レートは1ドル=23,230ドン**

先週末の7月8日、市中の米ドル相場は引き続き上昇した。

この日、ドル売り相場は1ドル=23,230ドンとなり、前日より20ドン、先週の最高値より約60ドン、ドル高に動いた。市中の買い相場も1ドル=23,150ドンに上昇した。

銀行レートでは最も高い銀行で、売り23,090ドン、買い22,950~23,000ドン。

専門家によると、タイバーツ(-3%)、インドネシアルピア(-7%)、フィリピンペソ(-7.3%)、韓国ウォン(-5.6%)、人民元(-3.2%)と、アジア各国の対ドル為替は下落しているが、これらと比較してベトナムドンの下落幅は想定内だとしている。

グローバル化が進むなか、企業はリスクマネジメントを重視し、特に為替リスク保険などを活用して、為替相場の急な変動に備えるべきだとしている。

(Tuoi Tre 7月9日,P.7)

**ホーチミン市 - カントー 高速道路、2022年に全線開通を予定**

交通運輸省の関連機関は現在、投資家とともに Trung Luong - My Thuan、My Thuan - カントーの2区間からなる、ホーチミン市 - カントー高速道路(ホーチミン市 - Trung Luong 高速道路はすでに開通)に取り組んでいる。

**■資金調達に目処、工事を再開**

南部初の高速道路として2010年2月、ホーチミン市 - Trung Luong 高速道(61.9km)が開通した後、交通運輸省は2015年2月にBOT方式で投資総額14兆ドン(約6億3,636万ドル)超の Trung Luong - My Thuan 高速道路に着工した。

投資主のCuu Long 交通インフラプロジェクト投資開発・管理総公社(CIPM)によると、同区間は35のパッケージからなり、立ち退き対象約3,000世帯で、自治体は基本的に用地引き渡しを完了している。

当初は2018年末の完成予定だったが、資金調達が難航し、一時事業を凍結していた。今年6月半ばにBIDV、Vietinbank、Agribank、VPBankの4つのパートナーと資金調達で契約締結を完了し、事業会社は2020年にも完成させたい考えだ。

**■最終区間の着工は2019年、全線開通は2022年**

ホーチミン市 - カントー高速道路の最終区間 My Thuan - カントー高速道路は23.6km、事業を行うThang Longプロジェクト管理委員会は7月はじめに交通運輸省に投資家の初期選定結果を報告する予定で、順調にいけば第3四半期には投資家の選定入札を

実施、2019年初めに着工する。

My Thuan – カントー高速道路に関連する My Thuan 2 橋では、同委員会が事業化可能性調査報告書を提出している。既存の My Thuan 橋の上流 350m に建設し、投資総額 5 兆 2,000 億ドン(約 2 億 3,636 万ドル)、2019 年着工、2022 年末の完成予定となっている。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 6 月 29～30 日,P.14)

## 合弁によるベトナム投資、見直されて増加

外資系企業がベトナムで合弁会社を設立するケースが増えている。外資によって、見直されつつある合弁会社は、ベトナムの社会経済に多くの利益をもたらすだろう。

### ■外資による合弁会社設立が増加

BRG と住友商事の合弁会社は今年 10 月、投資総額 41 億 3,800 万ドルのスマートシティプロジェクトを実施する予定だ。これは、今年初めから現在までに投資許可書を得た外国直接投資(FDI)の中で最大規模のプロジェクトとなる。第 1 段階では面積 73ha、投資総額は 10 億ドルを計画している。

合弁事業形式によるこのような大規模な FDI プロジェクトが実行されることは、ベトナムではあまり無い。100%外資の形態と比較すると依然としてかなり少ないが、このスマートシティプロジェクトは、見直され始めた外資による合弁事業の大きな節目となるだろう。

タイの AAPICO Hitech 社は 6 月半ば、VINFAST 社と共に、車体加工と溶接を行う合弁会社を設立する覚書に署名した。このプロジェクトの総投資額は 6,000 万ドルで、うち AAPICO 社が 51%、VINFAST 社が 49%を出資する。

この 2 つのプロジェクト以外にも、大規模な合弁会社が、相次いで設立されている。

例えば、Thuduc House(DWTD) 社は、VMEP(Vietnam Manufacturing Export Processing)社との合弁会社の設立に合意し、ハノイ Ha Dong 区の複合プロジェクトに 1 億 1,500 万ドルの投資を行う。

三菱商事と Phuc Khang 社が共同で投資し、昨年末に Diamond Lotus の開発を行った。三菱商事は 2016 年中にも Bitexco と協力し、ハノイの住宅プロジェクトを開発している。

こうした傾向は、KPMG 社 Nguyen Cong Ai 副社長によると、相談に来る殆どの外国企業が、合弁会社の設立や優良なベトナム企業の株式買い取りに興味を持っているという。

「外資は合弁による進出のメリットを再認識し、合弁という形でベトナム側の市場や顧客、人脈を活用したいと望んでいるのです」と Ai 氏は語る。

### ■ベトナムにメリットはあるのか？

FDI 企業協会の Nguyen Mai 会長も、外資企業による合弁でのベトナム事業展開への関心が戻ってきたことに言及している。会長によると、30 年前にベトナムが FDI の誘致を始

めた頃、法律では100%外資企業の許認可取得が可能であったにも関わらず、ベトナムに進出するほとんどの外国企業は、当時は情報の少ない国で安全を期すために、合弁形式を選択したという。

その当時、合弁相手となる国内企業の大半は資本として土地を現物出資し、多くの場合は一定期間の運営後、損失があればベトナム側が事業を手放し、外国側がプロジェクト全体を掌握することになっていた。

当初は混沌としていたが、しばらく経つとベトナムへの投資を行う FDI のプロジェクトの大半は、外国資本100%になっていった。

そして、2018年6月末の時点で有効な FDI プロジェクトの件数は、累計2万5,953件となり、登録投資額は3,310億ドルに達した。

このうち合弁事業の登録件数は3,873件で全体の15%と割合は少ないが、登録投資額は740億ドルで全体の22.3%に達している。

ここ最近、合弁事業が見直されてきており、M&Aもブームになっている。

Nguyen Mai氏は「VinグループやBRG、THといったベトナム大手企業の急成長を知る多くの外国企業は、お互いの利益のため、国内企業と手を組みたいと考えるようになった」と話す。

計画投資省のデータによると、今年初めから現在までに98社の合弁会社に投資許可書が発行された。一方2017年は140件、2016年は315件、2013年と2014年の2年間で544件に発行されていた。

今年上半期では、全国で2,749件の出資・株式取得があり、その総額は41億ドルで前年同期比82.4%の増加となった。

VinaCapitalグループのDon Lam会長によると、この数字は非常に注目すべきもので、以前のような狭い意味でのFDIの概念だけではなく、外国投資について意識を変えるべき時期に来ているという。

間接投資と呼ばれているが、M&Aを通じた投資もベトナム企業へ外国企業が資本を投資するもので、事業に投資するための原資を増やし、先進的な管理経験や、技術移転によりノウハウを蓄積することを含め、効果は徐々に国内企業にも伝播していく。

Nguyen Mai氏は「もし合弁事業ブームが戻ってくれば、FDI企業から国内企業への波及効果はさらに大きくなるでしょう」と話す。

これはまさに、多くの専門家がFDI誘致30周年を前に、合弁事業を奨励し、外資による投資形態を再検証すべきだと言う理由でもある。

(Dau Tu 7月9日,P.5)

**\*\*\*\*\*人事・労務・法律\*\*\*\*\*****小規模事業者の売上を掌握し、税収アップを図るために**

2017年のデータでは、売上10億ドン(約4万5,455ドル)を超える家族事業者(企業形態ではない個人事業レベル)は、ベトナム全国に10万2,095ある。

インボイス(Hoa don)を発行し、年間売上が数千億ドンに達する事業者や、化学、医療機器、建機、鉱物系建材など、売上税方式の家族事業者には合わない特殊な分野で活動している例も多い。

また、多くの家族事業者が、従来の事業に加えて運送やリゾート不動産、電子商取引などで活動する組織と事業協力するなどして経営規模の拡大を図っている。

家族事業者は雇用や収入の創出で大きく貢献し、2017年の統計年鑑によればGDPの30%に貢献している。

しかし、家族事業者からの税収は、国家税収の僅か1.56%と、非常に小さい割合となっている。

**■家族事業者の売上・税を監視できず**

管理機関によると、現時点において事業世帯を分類する基準や、一部特殊分野の事業世帯に対する売上を監視する方法、税の管理を行うためのデータベースが整っておらず、購入側が事業世帯からインボイスを得ることを奨励する対策もない。

そこで財務省は、事業世帯からの税の取りこぼしを防ぐために4つの対策を提案しているが、そのなかに、納税者が実際の売上を正しく申告するよう、納税者の売上監視に一般市民に加わってもらうための“宝くじ”制度の導入がある。

**■台湾のような「インボイス宝くじ」の導入**

「インボイス宝くじ」は台湾が1951年から現在に至るまで導入しているもので、抽選は2カ月に1度。賞金の構成は多様で、最高1,000万台湾元(約33万ドル)が当たり、地元の人だけでなく外国人も参加できる。消費者は、このインボイスを公共施設やホテルなどに設置されている募金箱に入れて寄付することもできる。こういった手法により台湾では脱税リスクを極力抑えている。

税の専門家 Nguyen Thai Son 氏によると、ベトナムでも10年ほど前にこのアイデアが提案されたが、実行されなかった。

インボイス宝くじを導入すれば、消費者はインボイスを得ようとするため、販売者はインボイスを発行しなければならず、税収を上げることができる。この宝くじを魅力的なものにするには、賞を多くして、賞金も大きくしなければならない。また肝心なのは賞金の

資金源をどうするかで、国家予算から拠出するのであれば、賞金を受け取る手続きは迅速に、抽選間隔も短く月 1 度にするなど、人々が長く待たずに済むようにしなければならない。

Son 氏は、この方法にはあまり期待しない方が良いという。現在人々は、何か購入する際にインボイスを要求すると、付加価値税(VAT)10%を負担しなければならない、不要であれば10%を払わないというケースが一般的だ。

### ■事業者のお金の流れを掌握する事が課題

このような「インボイス宝くじ」の他に、人々に自主的にインボイスを取得させるようにするためには、個人所得税法で、証明書があれば労働者は生活費用を控除できるという規定を補充すべきだという。

Son 氏は同時に、売上税方式の家族事業者に対する税制も改革すべきだとしている。

現在は、家族事業者を管理している街区・村の税の担当者が実際に現場を訪ね、繁盛しているかを確認し、税額を決めている。その一方で、家族事業者はオンラインビジネスも同時に行うという業態に移りつつあるため、店舗は閑古鳥が鳴いていても、実際には大きな売上があることも少なくない。そのため税管理は、銀行口座やインターネットを通じた取引を掌握できる仕様に変更していかなければならない。

(Thanh Nien 7月9日,P.7)

## \*\*\*\*\* 統計情報\*\*\*\*\*

### ホテルの稼働率、客室料金が回復基調

Grant Thornton Vietnam 社が7月10日に発表した、2018年ホテルサービス業界調査レポートによると、ベトナムの5つ星ホテルの平均客室料は2016年に僅かに下落した後、回復の兆しを見せており、昨年よりも4.2%上昇した。4つ星ホテルは約1%の上昇となった。

2017年の平均客室料は、前年比2.8%上昇の89.3ドル~91.8ドルとなり、地域別では、北・中・南部ともに改善され、中部では最も高い5.7%の上昇率で、これに北部の4.4%が続く。

客室稼働率も改善され、4つ星で4.8%、5つ星で5%上昇した。このうち、中部地域では7.5%と高い伸び率を示し、北部の6.4%、南部の2.2%がこれに続く。

(Tuoi Tre 7月11日,P.7)

## \*\*\*\*\* 一口ニュース \*\*\*\*\*

首相は FLC グループ傘下の Bamboo Airways に、中部 Binh Dinh 省 の Phu Cat 空港での運送開発プロジェクトを承認した。同社は約 3,200 万ドルをかけ、2023 年までの投資を進める予定。エアバス A320/A321 型など 10 機を導入する計画。

(Thanh Nien 7 月 11 日,P.6)

Sai Gon 電力社は、ケータイにアプリケーションをインストールするだけで、電力に関する質問に全て回答するサービスを開始する。計画停電のスケジュール、電気代の請求書、領収書など 22 のサポート項目が設定されている。

(Phap Luat 7 月 11 日,P.9)

Viettel は海外 10 カ国に投資を行っており、そのうち 8 カ国(ペルー、カンボジア、ラオス、ハイチ、ブルンジ、東ティモール、モザンビーク、カメルーン)で利益を上げた。特に、ラオス、カンボジア、東ティモールの 3 カ国で大きな利益を得ている。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 7 月 11 日,P.3)

タイのプラスチック大手企業 Nawaplastic 社は、ベトナムの Binh Minh プラスチック社の 12 万株を購入したことを明らかにした。これにより、Nawaplastic は Binh Minh プラスチックの株式保有率は 53.86%から 54%となった。

(Doanh Nhan Sai Gon 7 月 11 日,P.7)

Indochina - Kajima 社は、3 つ目となるホテルを、Da Nang 市の Han 川沿いに建設することを明らかにした。Wink Hotel は 25 階建ての、ホテルとオフィス・アパートメントで、2021 年に運営を開始する予定。今後同社は、ベトナムや東南アジア諸国に 20 のホテルを開業する計画。

(Doanh Nhan Sai Gon 7 月 11 日,P.42)

Nha Trang 市内で、3 名の韓国人観光客を乗せたタクシーが、僅か 2km で 20 万ドンの料金を請求し、乗客たちと喧嘩となり、韓国人たちは 10 万ドンを支払った。Khanh Hoa 省交通運輸局は、この報告を受け、同検査室が調査している。

(Thanh Nien 7 月 11 日,P.3)

一部の銀行が ATM 手数料を引き上げることに對して、国家銀行は凍結を求めた。利用者への告知や説明が不十分という理由。

(Sai Gon Giai Phong 7 月 11 日,P.6)

為替・証券市場動向	
為替相場	キャッシュ 23,075 ドン/USD <国家銀行中心レート 22,647 ドン/USD> (7 月 12 日 14 時 30 分・Vietcombank)
株価指数	VN-Index 900.13 (△6.97/0.78%) VN 30 886.86 (△5.72/0.65%) (7 月 12 日前場終値・ホーチミン市証券取引所)

\*\*\*\*\* 入札情報 \*\*\*\*\*

【施工】 Dak Lak 省 Ea Sup 県 Ea Rok 村上水道改修

(Dak Lak 省人民委員会承認 2018 年 7 月 9 日付文書 322/QD-UBND 号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
施工	115 億 1,000 万ドン	省予算 県予算	国内公募 入札	2018 年 第 3 四半期	総価式	700 日

投資主：Ea Sup 県建設投資プロジェクト管理委員会

(電子入札システム 7 月 9 日)

\*\*\*\*\* 事件・出来事 \*\*\*\*\*

70 歳の女性裁判官、30 歳の元愛人に復讐した罪で起訴

ホーチミン市公安の捜査警察局は 7 月 8 日、被告 Huynh Thi Tuyet Hong(70 歳、Binh Thanh 区在住、元最高人民裁判所裁判官、定年退職者)を「意図的な傷害」の罪で起訴した。

Hong 被告は、3 月 14 日深夜に Tan Phu 区 Son Ky 街区 27 番住宅の前で、P さん(30 歳)



が撃たれた事件との関わりが確認されている。現在彼女(Hong)は保釈されているが、自宅からの外出は禁止されている。

捜査警察局は6月7日、事件と被告人を起訴し、Le Dang Quang(25歳)と Ho Thanh Nhan(22歳)を拘束した。Quangは銃でPさんを撃ち、36%の負傷を負わせた。QuangはPさんを撃つためにNhanから雇われていた。

捜査によると、PさんとHong被告は以前愛人関係にあり、今年3月に別れている。Hongはこの話を息子のNhanに話して聞かせ、Nhanは母の仇を撃つためにQuangを3億ドン(約1万3,636ドル)で雇い、Quangは3月14日深夜にPさんを撃った。その後Pさんは病院に搬送された。

捜査を終えた3月19日、Tan Phu区公安はQuangを逮捕した。Quangの供述によると、公安は引き続きNhanの逮捕とHongの起訴に向け動いているという。

(Thanh Nien7月9日,P.4)

### \*\*\*\*\*コラム\*\*\*\*\*

## ベトナムの農業に密着する体験実習ツアー

草木が生い茂る農村を訪ねて農民の衣服に着替え、農作業の生活を体験するツアーが、外国からベトナムを訪れる旅行者の間で静かなブームになっている。

農業と農村を観光ツアーに結びつけるビジネスへの投資は始まったばかりだ。

Quang Nam省のホイアンは、世界遺産の一つとして知られているだけでなく、地元の農村に親しむことができる観光スポットとしても外国客から人気で、この取り組みは成功している。

### ■農民の暮らしを体験するツアー

Tra Que野菜村は、古い町並みで有名なホイアンの近くを流れるThu Bon川の支流の中洲を真二つに割るような場所に位置している。観光スポットとして開拓が始まった2007年以前、この村はほとんど知られていなかった。

見事な景観と類を見ない農産物の品質を目玉に、旅行者へ門戸が開かれてから、Tra Que村の名前はホイアンを訪れる観光客が真っ先に行ってみたいスポットになった。

季節は初夏、明るく晴れた空の下、Tra Que野菜村には無数の香菜を植えた四角い形の畑が見事に広がっていた。畑一面、畝の至るところで、シナモン、ネギ、シソ、パセリ、ハッカ、白菜そして瑞々しいグリーンサラダの葉が、競うように芳ばしい香りを発散している。

75歳の Nguyen Thi Xiem さんの野菜畑は涼しく爽やかな空気に包まれ、ドイツからやって来た Bettina さん、Erwin さん夫妻が、上着の袖をまくって農具を手に野菜植えの実習に精を出す。

ツアーガイドに通訳してもらい、ドイツ人夫妻を畑に案内してくれた Xiem 婆さんは、野菜の穴の掘り方や、水かけの方を喜々として教えている。30分ほどの体験学習が終り、婆さんに別れの挨拶をした夫妻は、幾ばくかのチップを渡すことを忘れない。

夫の Erwin さんは、ドイツでこの村のように静かな風景を探すのは本当に難しいと言う。今のドイツの農業は機械とビニールハウスを使うのが主流だからだ。

「生産効率と効果から言えば、ドイツの農園とは比較にならないでしょう。でも、Tra Que 村に来て私たちは、自分の国で味わうことのできない体験ができました。自然に近い生活と100%手作業のクリーンな農業です。お陰様で私たちは、農業が本来もっている価値に親しみ、自然環境と農作業を尊重することを知りました」と、Edwin さんは語った。

毎日 Tra Que 野菜村は、100組ほどの観光客を迎える。ツアー客から得る収入は、約200世帯の農民の生活と村の景観を瞬く間に改善した。

観光客が一息ついたのを見計らって Xiem 婆さんが教えてくれた。この観光ツアーの仕事をする前、この村の農民は野菜を売って生計を立てていた。景気が良い時もあれば悪い時もあり、生活はいつも不安定だった。

「今この村には、ホテルやレストランが沢山オープンしています。Tra Que 野菜はブランド品になり、良い値段で売れるようになりました。そして、毎日体験実習に来てくれるお客さんから頂く参観費とチップがあります。1日のチップが100万ドンになる日もあり、本当にありがたいことです。ヨーロッパのお客さんは、私たちが化学肥料や殺虫剤を使わないオーガニック野菜を栽培していることに共感し、この土地に愛着を持ってくれます」と、齒の抜けた口をモゴモゴさせ笑いながら言った。

## ■辛抱強く農家に教育、体験ツアーを成功させるまで

先日ホイアンで開催された、『農業と農村にしっかり密着した、エコツアーを発展させるシンポジウム』で、旅行総局の担当者は、農業と農村に密着したパッケージツアーは、観光客を引き付ける新しい取り組みであり、村々の景観を改善すると話した。

しかし、全国的な広がりを見せるこの取り組みは、まだまだ未熟で、独創的な商品も無く、専門性に欠けている。多くのスポットは、参観、休憩、飲食需要と単純な体験実習に依るだけなので、観光客からの収入は頭打ちとなってしまう。

このような状況のなか、ホイアンをはじめとする Quang Nam 省の名前は、農業と農村を観光ツアーに結びつけて成功し有名になった。

Quang Nam 省、文化・スポーツ・観光局の Le Ngoc Cuong 副局長は、この地方は早い時期から農業と農村を観光スポットとして開発することに着手したと言う。最初の企画は

2007年のTra Que野菜村で、現在はすっかりブランドとして定着し、多くの外国人旅行者を惹きつけている。

多くの村々では、世界遺産のホイアンを囲む形で次々と特色あるツアーを企画している。

例えば、An Myの野菜村、Cam Namのトゥモロコシ村、素焼きのThanh Ha村、椰子の森のCam Thanh村などが旅行者に人気だ。

しかし、観光業者の視点で見ると、今のホイアンでの成功は簡単ではなかったという。

ホイアンの農業農村を体験する多くのツアーを企画しているJack Tran ToursのAnh Tran Van Khoa社長は、一番難しいのは農民の観光業に対する姿勢や、態度を変えてもらうことだったと言う。

Khoa社長によると、彼らの習慣・風俗は専門性に欠け、一貫性がなくコロコロ変わる。彼らが土壇場で態度を変えるので、何回もツアーを中止しなければならなかったという。

水牛乗りツアーや田植えツアーに事前に同意しても、ガイドがお客を連れて着いたというのに「今日は忙しい」などと口実をつけ、受け入れを拒否することもある。一般的にそのようなことは、ものぐさな言い訳でしかなく、外国人客には全く理解できない態度だ。

Khoa社長は、ツアーを企画するために多くの農民を教育しなければならなかったと言う。一つの観光スポットを軌道に乗せ、安定させるまでには最低5年はかかる。その過程で成功するためには、満足できる報酬を農民に与えることが一番重要だという。

「私たちは農民と相応の料金で田んぼを借りる契約をし、彼らに平均年間収入の2倍の報酬を払って田んぼを管理してもらいます。彼らの仕事は、観光客を案内し田植えや稲刈りの体験をしてもらい、喜んでもらうことなのです」と、社長は語った。

(Tuoi Tre 6月17日, P11)